

# がん化学療法レジメン登録票

新規レジメン登録の際にはプロトコルの提出が必須です  
プロトコルがない場合は参考文献を提出してください

レジメン名	Short hydration CDDP+PEM
診療科名	呼吸器内科
診療科責任者名	三沢 昌史
適応がん種	NSCLC(腺がん)
保険適応外の使用	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無

がん治療ワーキンググループ使用欄	
登録番号	NSCLC-62
登録日・更新日	登録日2017年2月28日・更新日2023年8月22日
削除日	
出典	Jpn J Clin Oncol. 2013 ;43:1105-9
入力者	伊勢崎竜也

投与順に記入(抗がん剤のみ)

	薬剤名:一般名 (薬剤名・商品名) 希釈液	規格	投与量算出式	投与経路	投与時間	施行日
No.1	ペムトレキセドナトリウムヘミペンタ水和物 (ペムトレキセド点滴静注液)	100mg、500mg、 800mg	500mg/m <sup>2</sup>	<input type="checkbox"/> IV <input checked="" type="checkbox"/> DIV <input checked="" type="checkbox"/> CVポート <input type="checkbox"/> 側管 <input type="checkbox"/> その他( )	10分	Day1
	生理食塩液	100mL				
No.2	シスプラチン (シスプラチン点滴静注)	10mg、50mg	75mg/m <sup>2</sup>	<input type="checkbox"/> IV <input checked="" type="checkbox"/> DIV <input checked="" type="checkbox"/> CVポート <input type="checkbox"/> 側管 <input type="checkbox"/> その他( )	1時間	Day1
	生理食塩液	500mL				

1コースの期間	21日
投与間隔の短縮規定	<input type="checkbox"/> 短縮可能(日)・ <input checked="" type="checkbox"/> 短縮不可可能
計算後の投与量上限値	110%
計算後の投与量下限値	50%

減量・中止基準	<p>【SH法導入基準】</p> <p>①PS 0-1 ②腎機能良好(eGFR≥60) ③重篤な消化器毒性なし ④内服薬剤を自己管理可能 ⑤通院可能な距離に移住、緊急時に家族のサポートが得られる ⑥患者さんの緊急時の対応を良く理解し行動できる ⑦コントロール不能なDMがないこと ⑧心機能(EF≥60%)または心疾患の既往が無く、BNP≤100</p> <p>【延期基準】</p> <p>WBC&lt;3,000/μL、ANC&lt;1,500/μL、PLt&lt;10万/μL、Scr&gt;1.4mg/dL、AST&gt;100 IU/l、ALT&gt;100 IU/l、PS≥2</p> <p>【減量基準】</p> <p>grade2以上のScrの増加を認めた場合、次コースのシスプラチンを25%減量する。</p>
前投薬	<p>・アロキシ + デキサメタゾン + アプレビタント アロキシ0.75mg day1 アプレビタント125mg day1 アプレビタント80mg day2、day3 デキサメタゾン注射 9.9mg day1 デキサメタゾン内服 8mg day2、day3、day4</p> <p>・経口補水 OS-1 500mL day1 化学療法実施中に飲みきる OS-1 2000mL day2、day3</p> <p>・ハイドレーション CDDP投与前 ソルデム1 500mL+硫酸Mg 20mEq + KCL 10mEq CDDP投与後 ソルデム1 500mL + KCL 10mEq</p> <p>・利尿剤 CDDP投与前 20%マンニトール 300mL</p> <p>・ペムトレキセド初回投与の7日以上前から葉酸として1日1回0.5mg(バンパン1g)を連日経口投与する (ペムトレキセドの投与を中止又は終了する場合には、最終投与日から22日目まで投与する) ・ペムトレキセド初回投与の7日前にビタミンB12として1回1mg(メコバミン注2A)を筋肉内投与する (ペムトレキセド投与期間中及び投与中止後22日目まで9週ごと(3コースごと)に1回投与する)</p>
その他の注意事項	<p>・呼吸器内科限定</p> <p>・Short hydrationの継続が厳しい場合は、通常のハイドレーションに従う。</p> <p>・入院の経過で血糖値も評価する。</p>

記入者	伊勢崎竜也
確認者	大槻歩